

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2916

科目概要記入欄

1. 開設大学名	島根県立大学			科目開講 キャンパス	浜田キャンパス	
2. 科 目 名	正式科目名	日本文化論			クラス名	
	副題				配当年次	2, 3, 4
					受入学年	
	旧科目名					
	学問分野	番号	11	名称	文化・文学	
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群	
3. 担当教員名	小泉 凡					
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	秋（集中）		
6. 開講期間 曜日・時間	2021 年 2 月 15 日（月）～2021 年 2 月 18 日（木）集中講義 月～木曜日 9:00～18:00					
個別開講日	1 回目 2/15	2 回目 2/16	3 回目 2/17	4 回目 2/18	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
	13 回目 /	14 回目 /	15 回目 /	16 回目 /	試験日	/
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 （ ） ②. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 （総授業定員）	5 人 （ 人）		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考		

10. 科目内容・ 授業計画	日本の民衆文化の特性について、さまざまな切り口からアプローチする。具体的には、日常生活の素朴な疑問を糸口にし、とくに民衆が担い手となり、伝承によって継承されてきた有形・無形の日本文化を民俗学的に考察する。さらに、来日外国人の日本文化論も活用しつつ、比較研究の視点をまじえて探究する。その上で、日本文化のいくつかの特質を明らかにしてみたい。 【到達目標】 1. 庶民の生活文化の特色を説明することができる。(知識)→まとめテスト 2. 過去と現代の生活との関連性を説明することができる。(知識)→授業時の感想文、まとめテスト 3. 比較研究の視点で日本文化の特色を説明することができる。(知識)→まとめテスト 4. 授業開始時に着席し、積極的に授業に参加する。(態度)→出席状況、授業時の感想文 【授業計画】 1. イントロダクション：日本の民衆文化を学ぶ意味 2－3. 食の文化論～おにぎり・餅・酒・食器など～ 4. トイレの文化論～境界としての厠～ 5. 日本人と旅～講の発達と御師の活躍～ 6. 西洋における旅～禁酒運動とマスツーリズムの発展～ 7－8. 通過儀礼と日本人～葬送・産育・の儀礼、霊魂信仰と「白」の意味～ 9－12. 妖怪と日本人～妖怪の概念、神と妖怪、妖怪と妖精（ザシキワラシとバンシー）、 水木しげると小泉八雲の響きあう妖怪観～ 13－14. 小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）がみた明治日本と現代日本～八雲が異文化理解にもたらしたもの～ 15. 日本文化特質のキーワード〈両立型・高文脈・縁の人間関係〉 16. まとめテスト 【テキスト】 必要に応じてプリントを配布する。 【参考文献】 参考書は、そのつどプリントに記載して紹介する。。		
11. 試験・評価方法	成績は、小論文形式のまとめテスト(60%)、授業時に提出する感想文(10%)、出席状況(30%)などを考慮して総合的に評価する。		
12. 別途負担費用			
13. その他特記事項	授業中に紹介した参考文献や、日本文化に関する文献を、積極的に読むことが望ましい。 小泉凡 連絡先メールアドレス b-koizumi@u-shimane.ac.jp		
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否